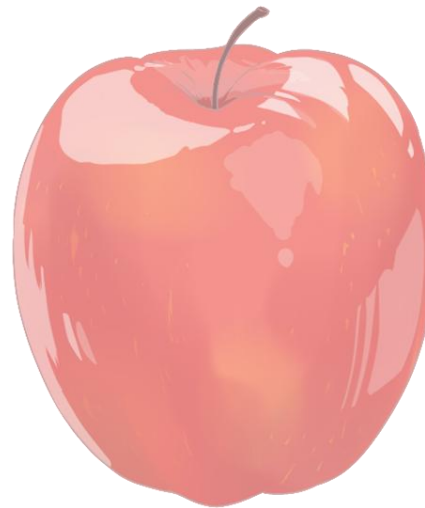


1 回目の加盟国協議に諮られているISPM案

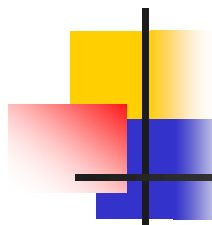
ISPM 46

「植物検疫措置のための品目基準」の附属書案

「国際貿易におけるりんご (*Malus domestica*) 生果実の移動」



農林水産省



ISPM 46 植物検疫措置のための品目基準

ISPM 46 本体の目的

- 品目基準の作成及び利用に関するガイダンスを提供する。
- 本基準の附属書として作成される個別品目基準は、植物検疫輸入要件の策定を支援し、安全な貿易を促進する。

【本体】品目基準のコンセプト

- 品目基準の原則、対象、目的
- 有害動植物の掲載基準
- 検疫措置の掲載基準
- 措置の信頼性
- 見直し

+

【附属書】個別品目基準

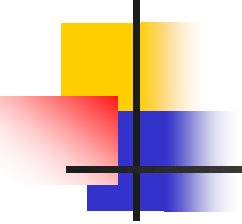
附属書 1：マンゴウ生果実の基準

附属書 2：さといも生塊茎の基準
附属書 3：バナナ生果実の基準

2回目
協議

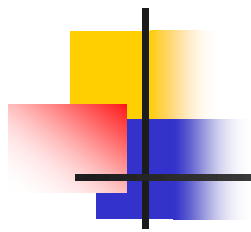
かんきつ属生果実の基準
いんげんまめ種子の基準
りんご生果実の基準

1回目
協議



検討の経緯

- 2024年4月 IPPC総会 (CPM-18) でトピックに追加
- 2025年12月 品目基準に関する技術パネル (TPCS) が附属書案を作成
- 2026年1月 TPCSによる検討・修正
協議に向けた承認を基準委員会 (SC) に勧告
- 2026年3月 TPCSによる修正
- 2026年5月 SCが修正し、1回目加盟国協議に諮ることを承認
- 2026年7-9月 1回目加盟国協議

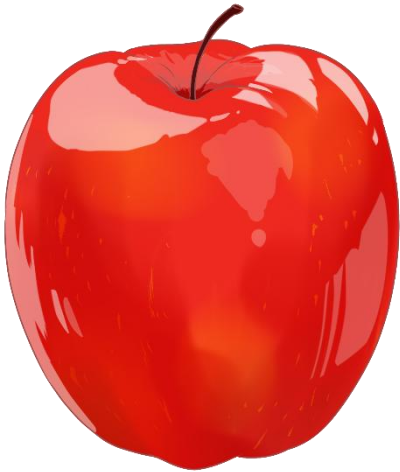


対象品目と用途

対象：りんご (Malus domestica) の**生鮮果実**

用途：輸入国での消費・加工用

果柄の有無を問わない



※葉を除いたもの

対象



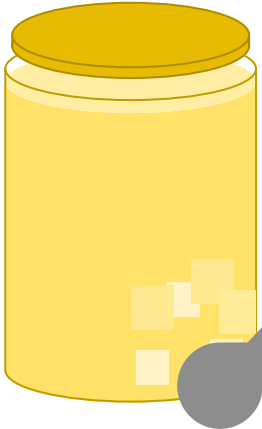
皮むき



乾燥

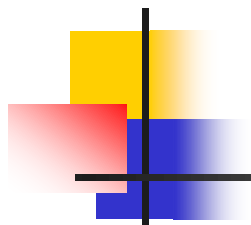


凍結



その他加工品

加工済みの果実は除外

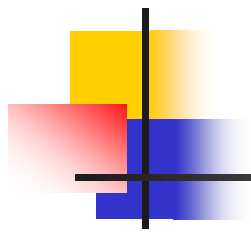


りんご生果実に関連する有害動植物

表 1：りんごに関連する有害動植物一覧（分類群ごとに集計、計162種）

ダニ	10種	ハバチ類	2 種
甲虫	12種	ガ	54種
ミバエ・ハエ類	14種	アザミウマ目	2 種
アブラムシ	3 種	クロミスタ（卵菌類）	3 種
カメムシ	2 種	菌類	34種
カイガラムシ	25種	細菌	1 種

- 掲載有害動植物は、りんごに関連することが知られ、少なくとも 1 つ以上のIPPC締約国によって規制されている。
- 当該リストは全てを網羅しているわけではなく、また、当該有害動植物に対する規制を技術的に正当化するものではない。
- 掲載種を規制対象とするかは、輸入国が病害虫リスクアナリシスにより決定すべき。



植物検疫措置の選択肢（1/8）

国際基準として植物検疫措置を例示

本節では、有害動植物（表 1）に関連しうる植物検疫措置の選択肢を示す。
網羅的なものではなく、締約国はここにはない選択肢も検討可能。

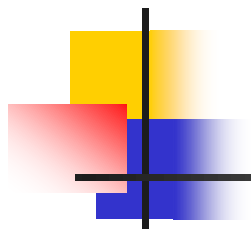
本基準で示される植物検疫措置は、単独で利用した場合に有効なものもあれば、他の措置と組み合わせ使用した場合にのみ有効になるものもある。

輸入国の植物防疫機関（NPPO）の判断・検討が重要

- 輸入国のNPPOは以下を判断・検討すべきである。
- 示された選択肢が、有害動植物リスクを許容可能な水準まで効果的に抑えられるか
 - 有害動植物Aに対する措置Aが、りんご生果実に関連する有害動植物Bのリスク管理にも有効か
 - 適切な適用手順の検討（附属書に示された選択肢を植物検疫措置として適用する場合）

臭化メチルの使用削減

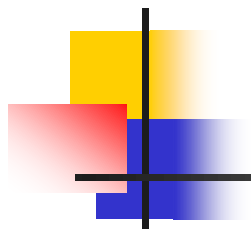
可能な限り、臭化メチルのくん蒸に代わる、有効で環境への影響がより少ない代替手段を選択すべきである。



植物検疫措置の選択肢（2/8）

表 2：植物検疫措置の一般的な選択肢

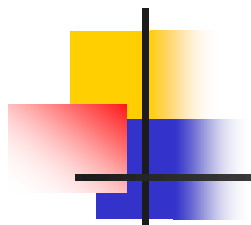
植物検疫措置の選択肢	参考
有害動植物無発生地域（PFA）	ISPM 4, 26
有害動植物無発生生産地（PFPP）及び 有害動植物無発生生産用地（PFPS）	ISPM 10
有害動植物低密度発生地域（ALPP）	ISPM 22
システムズアプローチ（SA）	ISPM 14, 35
植物検疫処理	ISPM 28
検査	ISPM 23, 31, 48
検定及び有害動植物の同定	ISPM 27
植物検疫証明	ISPM 7, 12



植物検疫措置の選択肢（3/8）

表 3：りんご生果実の有害動植物種（表 1）に応じた措置の選択肢（一部抜粋）

有害動植物	措置の選択肢
<i>Bactrocera dorsalis</i> (ミカンコミバエ)	CT 33; MBCT 3～11; PFA; SA 1
<i>Pseudococcus comstocki</i> (クワコナカイガラムシ)	ALPP; 輸出検査; SA 1
<i>Carposina sasakii</i> (モモシンクイガ)	CT 7; CTMB 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8; 輸出検査; MB 2, 3, 4, 5, 7; SA 1, 4, 5, 11
<i>Cydia pomonella</i> (コドリンガ)	CT 19, 23, 31; CTMB 4, 5, 9; 輸出検査; 梱包前及び梱包中の検査; MB 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7; PFA; PFPP; PFPS; SA 3, 7, 9, 11, 13
<i>Monilinia fructigena</i> (灰星病)	CTMB 4, 5; 輸出検査; MB 2, 3, 4, 5, 7; PFA; SA 4, 5, 8, 9, 10, 11, 16



植物検疫措置の選択肢 (4/8)

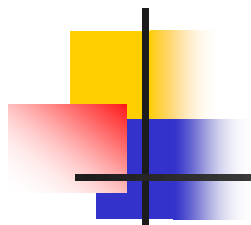
表 4 : 化学的处理 (CHEMT) の選択肢 (全 1 件)

措置番号	薬剤	濃度	最低浸漬時間	参考文献
CHEMT 1	塩素	100 mg/L	1 分	SAG  米国アイダホ州産 <i>Malus</i> spp. 対象 : <i>Erwinia amylovora</i> (火傷病菌)

表 5 : 低温処理 (CT) の選択肢 (全34件中 3 件を抜粋)

措置番号	温度 (°C)	時間 (日)	参考文献
CT 3	0.60	42	CFIA  米国本土産・メキシコ産 <i>Malus</i> spp. 対象 : リンゴミバエ
CT 30	2.20	55	SENASA  ブラジル産りんご 対象 : チチュウカイミバエ等
CT 33	3.00	18	DAFF  GACC  中国産りんご・豪州産りんご 対象 : クインスランドミバエ等

SAG: Servicio Agrícola y Ganadero, Chile
CFIA: Canadian Food Inspection Agency
SENASA: Servicio Nacional de Sanidad Agraria del Perú
DAFF: Department of Agriculture, Fisheries and Forestry, Australia
GACC: General Administration of Customs of the People's Republic of China

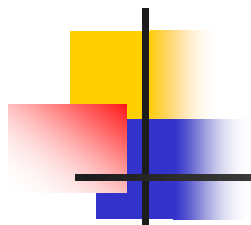


植物検疫措置の選択肢（5/8）

表 6：低温処理（CT）に続いて
臭化メチルくん蒸（MB）を行う場合の選択肢（全 9 件中 3 件を抜粋）

措置番号	低温処理		臭化メチルくん蒸			参考文献
	温度 (°C)	期間 (日)	最低温度 (°C)	最小投与量 (g/m³)	最小時間 (時間)	
CTMB 5	1.00	40	15	38	2	CFIA  日本産・韓国産 <i>Malus</i> spp. 対象：チチュウカイミバエ等
CTMB 6	1.11	40	10	48	2	APHIS-PPQ  日本産りんご・韓国産 'ふじ' りんご 対象：モモシクイガ等
CTMB 9	2.20	55	10	56	2	MAFF  米国産りんご 対象：コドリंगा

CFIA: Canadian Food Inspection Agency
APHIS-PPQ: Animal and Plant Health Inspection Service,
Plant Protection and Quarantine, Manuals Unit
MAFF: Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries, Japan



植物検疫措置の選択肢（6/8）

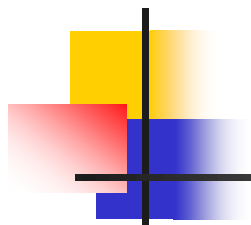
表 7：放射線照射（IRDN）の選択肢（全 2 件）

措置番号	最小吸収線量（Gy）	参考文献
IRDN 1	70	PT 39（ISPM 28付属書） 対象： <i>Anastrepha</i> 属（ミバエ科）
IRDN 2	400	APHIS-PPQ 

表 8：臭化メチルくん蒸（MB）の選択肢（全 7 件中 2 件を抜粋）

措置番号	最低温度（℃）	最低投与量（g/m ³ ）	最低処理時間（時間）	参考文献
MB 1	12	24	2	MAFF  ニュージーランド産りんご ※正しくは表 9 の MBCT のひとつであり要修正
MB 6	17	48	2	MAFF  豪州タスマニア産りんご

APHIS-PPQ: Animal and Plant Health Inspection Service,
Plant Protection and Quarantine, Manuals Unit
MAFF: Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries, Japan 11

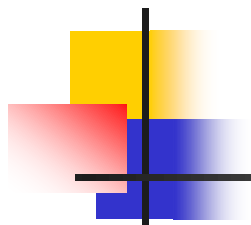


植物検疫措置の選択肢（7/8）

表 9：臭化メチルくん蒸（MB）（常圧下で実施）に続いて
低温処理（CT）を行う場合の選択肢（全11件中 3 件を抜粋）

措置 番号	臭化メチルくん蒸			低温処理		参考文献
	最低温度 (°C)	最小投与量 (g/m ³)	最小時間 (時間)	温度 (°C)	時間 (日)	
MBCT 3	12	24	2.0	2.00	25	MAFF  ニュージーランド産りんご 対象：コドリンガ
MBCT 4	20	30	2.0	1.00	50	MAFF  フランス産りんご 対象：コドリンガ
MBCT 11	21	32	3.0	13.33	6	APHIS-PPQ  チリ産りんご 対象： <i>Brevipalpus chilensis</i> （ヒメハダニ科） ほかミバエ類 4 種

MAFF: Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries, Japan
APHIS-PPQ: Animal and Plant Health Inspection Service,
Plant Protection and Quarantine, Manuals Unit



植物検疫措置の選択肢（8/8）

表10：システムズアプローチ（SA）の選択肢（全17件中 1 件を抜粋）

措置番号	措置の内容	参考文献
SA 3	収穫前の防除措置（以下から一つ以上）： - 生物的防除 - 化学的防除（例：殺虫剤の散布、有害動植物の捕獲） - 栽培防除（寄生果、被害果、及び落果の除去） 有害動植物の侵入防止： - 果実を保護した状態での栽培（例：果実の袋掛け）	AQSIQ  米国向けりんご GACC  セルビア・ドイツ・豪州・オランダ産りんご SENASA  中国産りんご 対象：コドリング等

AQSIQ: General Administration of Quality, Supervision,
Inspection and Quarantine of the People’s Republic of China
GACC: General Administration of Customs of the People’s Republic of China
SENASA: National Service of Agri-Food Health and Quality, Argentina